東京学芸大学大学史資料室展示会

Gakugei Album 2014

學藝アルバム

学生生活とキャンパスの移り変わり(2)

●写真上：汽車に乗り込む女子師範学校生徒たち
●写真下：師範学校生徒が作成した旅行記

【特集】戦前の修学旅行

【会期】2014.7.29(火)～8.8(金)

【時間】[平日] 9:00～17:00 (最終日 13:00まで)
[土日] 10:00～17:00

【場所】東京学芸大学 芸術館

【主催】東京学芸大学大学史資料室

【問合せ先】東京学芸大学 大学史資料室事務室 [電話] 042-329-7896

東京学芸大学
大学史資料室
Office of Tokyo Gakugei Univ. Archives

Gakugei Album 2014

學藝アルバム

学生生活とキャンパスの移り変わり(2)

ご　挨　拶

東京学芸大学大学史資料室による展示は、今年で2回目になります。今年は昨年に引き続き「学生生活とキャンパスの移り変わり」の展示をするとともに、特集として「戦前の修学旅行」を企画しました。

今回取り上げたのは、東京府女子師範学校が大正9(1920)年に実施した関西修学旅行です。この学校は、明治33(1900)年、女性教員の養成のために当時の東京市小石川区竹早町に設置されました。名前の通り、女子生徒しかおらず、運動会では家族といえども成人男性の来場は禁止されていました。現在の東京学芸大学附属竹早小学校・中学校は、この女子師範学校附属学校の後身にあたります。

女子師範学校は、大正4(1915)年から修学旅行を行っていましたが、大正9年の旅行では、珍しく、どのようなことにどれくらいのお金がかかったのかという記録が残っており、当時の修学旅行の具体的な様子がよくわかります。また参加した生徒による旅行記も作られており、生徒たちがワクワクしながらこの修学旅行に参加していたこともわかります。

修学旅行は日本の学校教育の中でも重要なひとこまでした。具体的な旅行の様子を楽しんでいただきながら、当時の日本が修学旅行にどのような意味を与えていたのかも考えていただけたらと思います。

なお昨年と同じく、戦前から戦後の教育現場において、実際にどのような実践が行われていたかを示す資料や、本学の小金井キャンパスの移り変わりを示す地図と写真も展示します。併せてご覧ください。

140 年あまりの歴史をもつ東京学芸大学に残されているこうした資料を通して、日本の教育の過去と未来を考えていただけると幸いです。

2014年7月

東京学芸大学大学史資料室長
藤井　健志